

【JCAABE 一般社団法人日本建築まちづくり適正新機構】

2024 年度、第 8 期、定期総会次第

■日時:2025 年 9 月 26 日(金)18:30～19:20(総会)

■場所:JIA 館 1 階建築家クラブ (ZOOM ハイブリッド開催)

※講演会ハイブリッド(津川恵理)19:30～20:10、懇親会 20:10～21:00

●総会

1、開会挨拶

2、会議成立の確認

3、議事

○議案 1 号:事業報告

○議案 2 号:決算報告

○議案3号:次期事業計画

○議案 4 号:今後の体制

■日時:2025 年 9 月 26 日 18:30~19:20 ■場所:及び JIA 館 1 階建築家クラブ及び ZOOM

■議案1、事業報告

1、会員の状況: 会員数:191名(正会員:156名、専門会員1名、準会員23名、賛助会員11名)

※昨年:会員数:181名(正会員:150名、専門会員1名、準会員 19 名、賛助会員11名)

・会員サービス:会員情報メール 39 件、 HP(新着情報):6 件、(会員情報):15 件

・リレートーク :第 7 回、松島逸人会員「地方で建築活動をする事」

第 8 回、福士美奈子会員「青森で考えるまちと建築」

第 9 回、手島浩之会員「見守型災害公営住宅のコモン空間が入居者に使われる理由と必要な取り組み」

※11月18日予定、第 10 回慶野正司会員「吉田村ビレッジ物語」

2、広報活動(ホームページの充実、機関誌へのリーフレット封入)

・機関誌→JIA マガジン 3500 枚、建築東京(東京建築士会)6500 枚、建築人(大阪府建築士会)2800 枚。

3、まちづくりファシリテーター養成講座事業(2024 年度日本建築学会教育賞受賞、2023 年度日本工学教育賞受賞)

・実施校: ※日本工学院専門学校)、新潟工科専門学校、麻生建築&デザイン専門学校、静岡産業技術専門学校、

修成建設専門学校、※東海工業専門学校(金山校) 読売理工医療福祉専門学校、岡山理科大学専門学校 ※今年度非開講

→当年度修了者:98 名 登録者 2 名

・立命館大学、阿部研究室、まちファシ講座が取得できる仕組設置

・社会人、学生、オンラインファシリティー講座 受講者:14名 登録者2名

※登録まちづくりファシリテーターが、ADR 調停人の基礎資格となった。

4、建築まちづくりコンクール「日常と非常時をつなぐデザイン」2024 年 9 月~11 月実施

応募 54 作品(一般部門:16 作品、学生部門:38 作品)

一般最優秀賞:ぐるーぷほーむ KNOOP(伊藤昭博)、学生部門最優秀賞:都市の奈落・浮沈する街並み(奥井温大)

住まいの GoodEXPO での展示プレゼ、ArtGalleryLegion での展示会、トークイベント実施

5、その他活動報告 ※まちづくりファシリテーター養成講座の国際化(フィリピン、バギオ)→トヨタ財団に申請(落選)

※いまとしもをつなぐ建築まちづくり WS の開発実践→住総研研究助成採択

■議案2、決算報告(案)→(連代表理事)、監査報告→(向田正会員)

■議案3、次期事業計画

・認定まちづくり適正建築士セミナーの受講者勧誘活動(オンライン、オンディマンド講義)48,000 円→38,000 円)

・まちづくりファシリテーター養成講座設置校を増やす。オンライン講座は社会人は 10 コマの免減履修

・JIA 建築家大会(千葉)まちづくり WS・講演の連携

■議案4、今年度の体制(2 年毎に承認)※新任は下線

【理事】・代表理事:連健夫・副代表理事:松村哲志、専務理事:大谷昭二・理事:最上義・松本昭

【特別顧問】・神田順、・野澤康・三井所清典・市古太郎・青木茂

【幹事】・日比野大(弁護士)

【全国支部長】・北海道支部:菅沼秀樹、・東北支部:松本純一郎・関東甲信越支部:連健夫

・東海支部:鳥居久保・近畿支部:荒木公樹・中国支部:山田暁

・四国支部:内野輝明・九州支部:鰐坂徹

【設計コンパ・プロポーザル相談室】山本想太郎

【組織本部長】北村稔和

【事務局長】大槻一敬 事務局:飯名京美、稲垣雅子(庶務・連絡事務)

【JCAABE 建築まちづくり実装タスクフォース】委員会として新設

・委員長:成岡茂 副委員長:片山耕治 ※委員は推薦及び、募集(10 月 15 日締め切り)

目的:建築まちづくりの市民参加や協議調整の仕組づくりの支援活動、JCAABE の認知活動を行う。JCAABE の資格やセミナーを含むノウハウの提供、専門家派遣や実現支援やアドバイス、建築まちづくりコンクール、会員増強によるネットワークの拡がり等の活動紹介を行う。対象は地方自治体、教育機関、NPO や NGO、まちづくり団体や組織、個人

一般社団法人日本建築まちづくり適正支援機構 第8期決算報告/まとめ

令和6年(2024年)8月1日～令和7(2025年)7月31日

収入の部		前年度	当年度	備考
1、一般事業	会費、受講費、推薦費	2,552,000	2,434,000	
	講座受託	946,000	671,000	※1
2、公的事業	コンクール事業	1,200,012	355	
合計		¥4,698,012	¥3,105,355	
支出の部				
1、一般事業支出	雑給/事務給与	984,690	1,396,604	
	HP製作費	168,080	235,070	
	広告宣伝費	358,650	201,220	
	通信費	150,667	169,609	
	会場費	138,600	139,150	
	講師報酬	929,503	825,772	
	テキスト印刷費	327,470	0	※2
	事務・雑務費用	165,000	438,870	※3
	旅費交通費	348,542	127,324	
	賃借料等	180,000	180,000	※4
	雑費/交際費	48,916	50,000	
	支払利息・租税公課	30,000	0	
	手数料	35,270	30,510	
小計		¥3,865,388	¥3,794,129	
一般事業の収支		¥-367,388	¥-689,129	
2公的事業支出	人件費	0	0	
	諸謝金	440,000	0	
	旅費	0	0	
	借損料	0	0	
	消耗品	0	0	
	通信運搬費	83,000	0	
	雑役務費	915,000	0	
	雑費	3,090	0	
	飲食費			
小計		¥1,441,090	¥0	
公的事業の収支		¥-241,078	¥355	
収入合計		¥4,698,012	¥3,105,355	
一般事業支出合計		¥3,865,388	¥3,794,129	
公的事業支出合計		¥1,441,090	¥0	
営業外収益				
営業外費用		¥0	¥0	
法人税		¥70,000	¥70,000	
総収支		¥-678,466	¥-758,774	

※1:まちづくりファシリテーター特別講師受託

※2:オンライン対応

※3:アルバイト費用

※4:日本橋古泉第二ビル5階、シェア費用

事業報告書

第 8 期

自 令和 6 年 8月 1日

至 令和 7 年 7月31日

一般社団法人 日本建築まちづくり適正支援機構

本 部 ： 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番地4

貸借対照表

(令和 7 年 7 月 31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	248,422	流 動 負 債	574,468
現 金 及 び 預 金	210,759	未 払 費 用	0
立 替 金	37,663	預 り 金	4,468
	0	未 払 法 人 税 等	70,000
		短 期 借 入 金	500,000
固 定 資 産	0	固 定 負 債	0
敷 金 ・ 保 証 金		長 期 借 入 金	0
		負 債 合 計	574,468
		正 味 財 産 の 部	
		正 味 財 産	△ 326,046
		前 期 繰 越 正 味 財 産	432,728
		当 期 正 味 財 産 増 加 額	△ 758,774
		正 味 財 産 合 計	△ 326,046
資 産 合 計	248,422	負 債 ・ 正 味 財 産 合 計	248,422

事業収支計算書

〔 自 令和 6年 8月 1日
至 令和 7年 7月 31日 〕

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経 常 収 入 の 部		
1 非営利事業収入		
① 会費収入合計		3,105,000
会費収入	3,105,000	
② 事業収入合計		0
コンクール事業収入	0	
	0	
2 営 利 事 業 収 入		
① 事業収入合計		0
講演等その他事業収入	0	
経 常 収 入 合 計		3,105,000
II 経 常 支 出 の 部		
1 非営利事業費用		1,401,212
講師謝金費用	825,772	
会場使用料他	575,440	
2 当期営利事業費用		0
	0	
	0	
3 当 期 管 理 経 費		2,392,917
非営利事業管理経費発生額	2,392,917	
営利事業管理経費発生額	0	
経 常 支 出 合 計		3,794,129
経 常 収 支 差 額		△ 689,129
III その他資金収入の部		
1 その他の収入		
① 事業外収入		355
受取利息	355	
② 特別収入		0
事業復活支援金	0	
その他の収入合計		355
IV その他資金支出の部		
1 その他の支出		
① 事業外支出		0
支払利息	0	
② 特別支出		0
その他の支出合計		0
当 期 税 引 前 収 支 差 額		△ 688,774
法 人 税 等 負 担 額		70,000
当 期 正 味 財 産 増 減 額		△ 758,774
前 期 繰 越 正 味 財 産		432,728
当 期 繰 越 正 味 財 産		△ 326,046

事業別収支明細書

〔 自 令和 6年 8月 1 日 〕
〔 至 令和 7年 7月 31日 〕

(単位:円)

科 目	金 額		
	非営利事業	営利事業	合 計
I 収 入			
① 会 費 収 入			
会 員 会 費 収 入	3,105,000		3,105,000
			0
② 事 業 収 入 合 計			
コンクール事業収入	0		0
	0		0
受 取 利 息	0	355	355
③ 営 利 事 業 収 入			0
講演等その他事業収入		0	
		0	
④ 他 特 別 収 入		0	0
		0	0
収 入 合 計	3,105,000	355	3,105,355
II 事 業 費			
外 注 人 件 費	0		0
講 師 支 払 報 酬	825,772	0	0
会 場 使 用 料	139,150	0	0
H P 作 成 費	235,070	0	0
コ ン ク ー ル 賞 金	0	0	0
広 告 費	201,220	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0
雑 費	0	0	0
	0	0	0
	0	0	0
	0	0	0
	0	0	0
	0	0	0
	0	0	0
事 業 費 合 計	1,401,212	0	0
III 管理経費			
福 利 厚 生 費	0	0	0
広 告 宣 伝 費	0	0	0
印 刷 費 等	0	0	0
講 師 支 払 謝 金	0	0	0
雑 給	1,396,604	0	1,396,604
視 察 研 究 費	0	0	0
テ キ ス ト 作 成 費	0	0	0
接 待 交 際 費	50,000	0	50,000
旅 費 交 通 費	127,324	0	127,324
通 信 費	169,609	0	169,609
消 耗 品 費	0	0	0
租 税 公 課	0	0	0
賃 借 料	180,000	0	180,000
H P 作 成 費	0	0	0
事 務 費	438,870	0	438,870
会 場 使 用 料	0	0	0
支 払 利 息	0	0	0
支 払 手 数 料	30,510	0	30,510
雑 費	0	0	0
管 理 経 費 合 計	2,392,917	0	2,392,917
事業費・管理費合計	3,794,129	0	2,392,917
税引前経常収支差額	-689,129	355	712,438
法人税等負担額	0	70,000	70,000
当期正味財産増減額	-689,129	△ 69,645	△ 758,774
前期繰越正味財産		432,728	432,728
当期繰越正味財産	-689,129	363,083	△ 326,046

令和7年7月期財産目録

令和 7年7月31日現在

(単位:円)

I 流動資産の内訳

1 現金預金の内訳

「1」 現金			
(1) 本部現金	イ 手持現金		0
現金合計			0
「2」 銀行預金			
(1) 普通預金	イ みずほ銀行・横山支店No.2358378		191,263
(2) 普通預金	ロ みずほ銀行・横山支店No.3019682		19,496
普通預金合計			210,759
現金預金合計			210,759

2 立替金の内訳

(1) 連健夫	イ 事業諸経費	37,663
合 計		0

II 固定資産の内訳

1 敷金・保証金の内訳

(1) 事務所保証金	イ	0
合 計		0

III 流動負債の内訳

1 預り金の内訳

(1) 源泉所得税	イ 講師謝金源泉税	4,468
合 計		0

2 未払法人税等の内訳

(1) 法人都民税	70,000
合 計	0

4 短期借入金の内訳

(1) 連健夫	イ 事業運転資金	500,000
合 計		0
		500,000

IV 正味財産の内訳

1 正味財産の内訳

(1) 前期繰越正味財産	432,728
(2) 当期正味財産増加額	-758,774
合 計	-326,046

監査報告書

一般社団法人

日本建築まちづくり適正支援機構

代表理事 連健夫様

2025 年 9 月

一般社団法人

日本建築まちづくり適正支援機構

監査 向田良文（正会員）



私は、2024 年 8 月 1 日～2025 年 7 月 31 日までの第 8 期、2024 年度における会計の監査を行い、次の通り報告する。

- 1, 監査の方法：決算資料と通帳の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて行った。
- 2, 監査結果報告
決算報告まとめ、貸借対照表、事業収支計算書、事業別収支明細書において、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。

以上

一般社団法人日本建築まちづくり適正支援機構 第9期予算

令和6年(2025年)8月1日～令和7(2026年)7月31日

収入の部		当年度	次年度予算	備考
1、一般事業	会費、受講費、推薦費	2,434,000	2,700,000	※1
	講座受託	671,000	800,000	※2
2、公的事業	コンクール事業	355	1,600,000	※3
合計		¥3,105,355	¥5,100,000	
支出の部				
1、一般事業支出	雑給/事務給与	1,396,604	1,400,000	
	HP製作費	235,070	250,000	
	広告宣伝費	201,220	250,000	
	通信費	169,609	170,000	
	会場費	139,150	50,000	※4
	講師報酬	825,772	400,000	※5
	事務・雑務費用	438,870	300,000	
	旅費交通費	127,324	200,000	
	賃借料等	180,000	180,000	
	雑費/交際費	50,000	50,000	
	手数料	30,510	30,510	
小 計		¥3,794,129	¥3,280,510	
一般事業の収支		¥-689,129	¥219,490	
2公的事業支出 コンクール事業	人件費	0	300,000	
	諸謝金	0	700,000	
	旅費	0	200,000	
	雑役務費	0	100,000	
	雑費	0	100,000	
小計		¥0	¥1,400,000	
公的事業の収支		¥355	¥200,000	
収入合計		¥3,105,355	¥5,100,000	
一般事業支出合計		¥3,794,129	¥3,280,510	
公的事業支出合計		¥0	¥1,400,000	
営業外収益				
営業外費用		¥0	¥0	
法人税		¥70,000	¥70,000	
総収支		¥-758,774	¥349,490	※7

※1:会員増強

※2:まちづくりファシリテーター講座、設置校増

※3:コンクール事業、協賛費

※4:オンライン対応増

※5:録画講義の増